

# 案

資料3

令和5年(2023年)12月 日

枚方市長 伏見 隆 様

枚方市人権尊重のまちづくり審議会  
会 長 明石 一朗

枚方市人権尊重のまちづくり条例の見直しについて(答申)

枚方市人権尊重のまちづくり審議会は、枚方市人権尊重のまちづくり条例に基づいて、令和5年(2023年)6月29日付け諮問「枚方市人権尊重のまちづくり条例の見直しについて」(公人第303号)を受けました。

本審議会では、大阪府等その他自治体の動向や令和5年(2023年)11月に実施した市民意見聴取において寄せられたご意見等を踏まえ、多様化・複雑化する人権問題に対し、市・市民・事業者が一体となって、どのように取り組むべきか等について、審議を重ねてきました。

公人第303号の諮問に対し、別添のとおり答申します。

案

枚方市人権尊重のまちづくり条例の見直しについて  
(答申)

令和5年(2023年)12月  
枚方市人権尊重のまちづくり審議会

## はじめに

枚方市は、世界人権宣言及び日本国憲法の理念並びに枚方市の人権尊重都市宣言の趣旨にのっとり、平成16年（2004年）3月に「枚方市人権尊重のまちづくり条例」（以下、「条例」とする。）を制定した。さらに、人権尊重のまちづくりを総合的、計画的に推進するため、令和4年（2022年）6月には「枚方市人権尊重のまちづくり基本計画」を策定し、互いの人権を尊重し、誰もが安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいる。

昨今、ヘイトスピーチや性的マイノリティの人権など人権問題が多様化し、これらが複合的に絡み合うことで被害が深刻化する複合差別も生じていることに加え、インターネットの普及に伴い、人権に関する課題はますます複雑化している中で、市が令和3年（2021年）に実施した市民意識調査では、「人権侵害を受けたときに、我慢した人が5割」、「周りで人権侵害を見聞きしたときに、何もしない又は同調した人が4割」という実態が明らかになった。また、近年は、様々なハラスメントやいじめなどの人権侵害が増加している。

より一層の人権意識の向上が求められる中、「あらゆる人権侵害を許さない」という市の姿勢を示すとともに、市民一人ひとりがまちづくりの主体となって、お互いを思いやる心豊かなまちを築くため、市は、本審議会に対し、令和5年（2023年）6月29日に「枚方市人権尊重のまちづくり条例の見直しについて」諮問を行ったものである。

本審議会では、人権意識の醸成をもって、人権侵害を許さず、まち全体で封じ込めることで誰もが安心して暮らせる人権尊重のまちづくりを推進するため、大阪府等その他自治体の動向や本審議会が実施した市民意見聴取の結果を参考に、学識経験者、団体、事業者、市民など、それぞれの立場から意見交換し、議論を重ねてきた。

枚方市が、あらゆる人権侵害を許さず、市民一人ひとりがまちづくりの主体となって、お互いを思いやる心豊かなまちとなることを願って、ここに条例の見直しについて提言を取りまとめ、次のとおり答申するものである。

## 審議会からの提言

### 1. 昨今の社会情勢や多様化する人権問題について

現行条例では、人権侵害として、「人種、民族、信条、性別、障害、社会的身分」の例示がされているが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う医療従事者等への偏見や差別、人種・民族によるヘイトスピーチや性的マイノリティの人権など、人権問題が多様化している社会情勢を踏まえ、「疾病」や「性的マイノリティ（性自認・性的指向）」を例示に加えることが適当と考える。

また、人権問題が複合的に絡み合うことで、被害がより深刻なものになるとともに、情報化の進展や社会情勢の変化に伴い、人権に関する課題の複雑化が進んでいる中で、人権意識のさらなる向上が求められている状況についても記載すべきである。

### 2. 市民や事業者の役割等について

市全体で人権尊重のまちづくりを推進する観点から、現行条例に規定する「市の責務」に加え、市民・事業者の役割等を規定することが必要と考える。

市民については、互いの人権を尊重するとともに、自らがまちづくりの担い手として、人権尊重のまちづくりを尊重することを「役割」とし、事業者については、その社会的責任の観点から、人権尊重の視点を持って事業活動を行うことを「責務」とすることが適当と考える。

### 3. あらゆる人権侵害行為の禁止等について

インターネット上を含むいかなる場所において、場面を問わず、あらゆる人権侵害行為をしてはならないことを規定する。また、人権教育及び啓発を推進するとともに、人権侵害行為を受けた人への支援についても、条例に明記することで実効性を担保することが適当と考える。

### 4. 昨年度策定した基本計画を位置づけ

令和4年（2022年）6月に策定された「枚方市人権尊重のまちづくり基本計画」について、条例に位置づけることにより、人権施策を総合的かつ計画的に推進していただきたい。

## 枚方市人権尊重のまちづくり審議会の開催状況と主な審議内容

	開催日	審議内容
第1回	令和5年(2023年) 6月29日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和4年度(2022年度)人権及び平和に関する事業について</li> <li>2. 枚方市人権尊重のまちづくり条例の見直しについて〔諮問〕</li> </ol>
第2回	8月17日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 枚方市人権尊重のまちづくり条例見直しの骨子(案)について</li> </ol>
第3回	10月17日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「枚方市人権尊重のまちづくり条例」の見直し(素案)について</li> <li>2. 市民意見聴取について</li> </ol>
第4回	12月14日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市民意見聴取の結果等について</li> <li>2. 枚方市人権尊重のまちづくり条例の改正について(答申)</li> <li>3. 枚方市人権尊重のまちづくり基本計画の進捗状況について</li> </ol>

枚方市人権尊重のまちづくり審議会委員一覧（委員は五十音順）

	氏 名	所 属	区 分
会長	あかし いちろう 明石 一 朗	関西外国語大学短期大学部 教授	学識経験者
副会長	あかし たかゆき 明石 隆 行	種智院大学 教授	
委員	やすだ よしと 安田 誠人	大谷大学 教授	
委員	いその まさはる 磯野 雅 治	特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会	関係団体等
委員	いまもり いわお 今 森 巖	枚方地区人権擁護委員会 人権擁護委員	
委員	うえの のぶこ 上野 寛子	枚方市日本語ボランティアの会	
委員	かわむら ようこ 川 村 洋子	枚方事業所人権推進連絡会	
委員	さかもと とおる 阪 本 徹	社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会	
委員	しまだ まさと 嶋田 雅人	枚方市P T A協議会	
委員	つくま ともこ 津熊 友子	特定非営利活動法人 ひらかた市民活動支援センター	
委員	とおたけ みつこ 遠 竹 光子	枚方市介護支援専門員連絡協議会	
委員	まつうら けいこ 松 浦 恵子	枚方市精神障害者をもつ家族会（わかちあう会）	
委員	もりた あかね 森田 茜	社会福祉法人 であい共生舎「地域生活支援センターにじ」	
委員	かつかわ よしゆき 勝川 義 幸	市民公募	
委員	くさま ゆ み こ 草間 由美子	市民公募	